

働く場所と時間を柔軟にする 「職場の制度」と「テクノロジー」 両方を活用して働く女性はより幸せになる

Google は、25-49歳の女性を対象に、
どのような働き方が女性を幸せにするのかに
ついての調査を実施しました。

女性が働き続けられない大きな理由は「場所」と「時間」

- ・ 離職予定者に「働き続けることが難しい理由」を聞いたところ、過半数が、「場所に関する制限 (通勤や勤務エリアなど)」と「時間に関する制限 (子育てや子供の急な病気への対応など)」を理由として挙げ、スキル・キャリア・待遇などを理由とする割合を上回りました。
- ・ 「自宅からの会社資料へのアクセス」「自宅から会議への参加」など、働く場所と時間を柔軟にするテクノロジーは「働き続けることに役に立つ」と評価されました。

職場の制度に加え、テクノロジーを活用する人は、 仕事への意欲や、働き続ける意向が高い。

- ・ 働く場所と時間を柔軟にする職場の制度とテクノロジーが、働く女性の意欲や勤続意思にどう関係するか調査したところ、制度とテクノロジーとの両方を活用して働く女性は、制度のみを活用して働く女性よりも意欲・勤続意思ともに大幅に高いということがわかりました。

職場の制度に加え、テクノロジーを活用する人は、 ワークだけでなくライフの満足度も高く、幸せである。

- ・ 仕事だけでなく、「現在どの程度幸せか」「生活全般に満足しているか」「育児と仕事が両立できていて幸せであるか」「有給休暇をどの程度消化しているか」などの項目においても、制度とテクノロジーとの両方を活用する女性が、制度のみを活用する女性よりも、スコアが高い結果になりました。

テクノロジーが浸透するのはまだこれから

- ・ 子育てをしながら働く女性全体に、最近1年以内に利用したテクノロジーを聞いたところ、最も利用されている「ファイル共有」においても、利用率は14.1%にとどまりました。
- ・ 54.2%の企業は、テクノロジーを一つも導入していませんでした。

次ページ以降で調査の詳細をご紹介します。

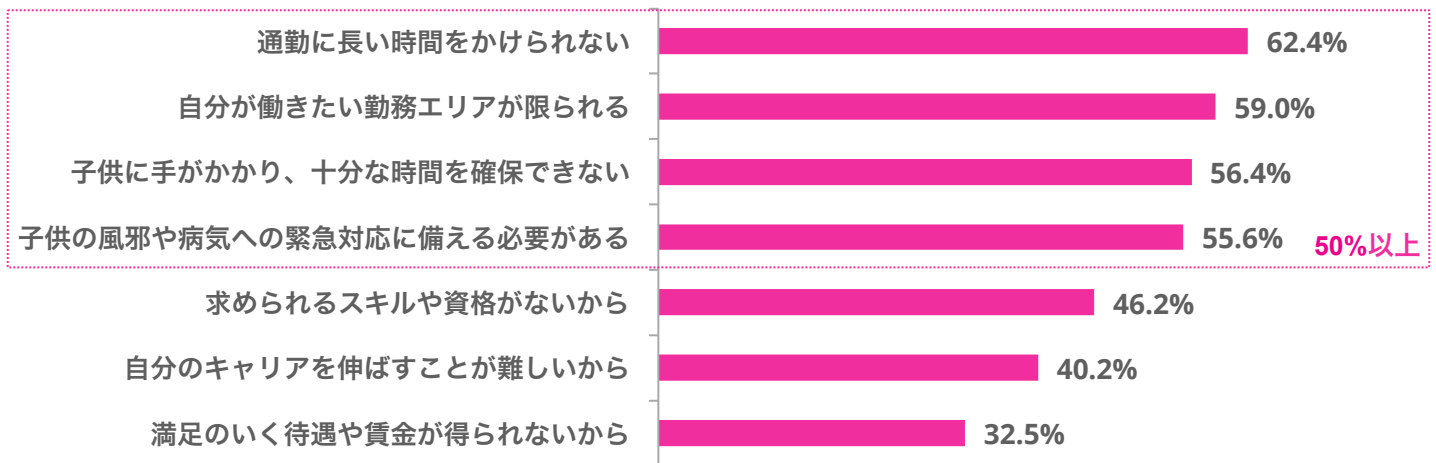
女性が働き続けられない大きな理由は「場所」と「時間」

まず、第一回調査として、「女性が働き続けることを阻む課題」と「その解決策」について調査しました。(2013年11月実施)

1 働く場所や時間の制限が、働き続けることを困難にしている

現在、離職を予定している人に「働き続けることが難しい理由」を聞いたところ、過半数が「場所に関する制限(通勤や勤務できるエリアなど)」と「時間に関する制限(子育てや急な病気への対応など)」を理由として挙げ、キャリアや賃金、待遇などの不満よりも大きな理由となっていました。

いま、離職を予定している女性に聞いた
「働き続けることが難しい理由」

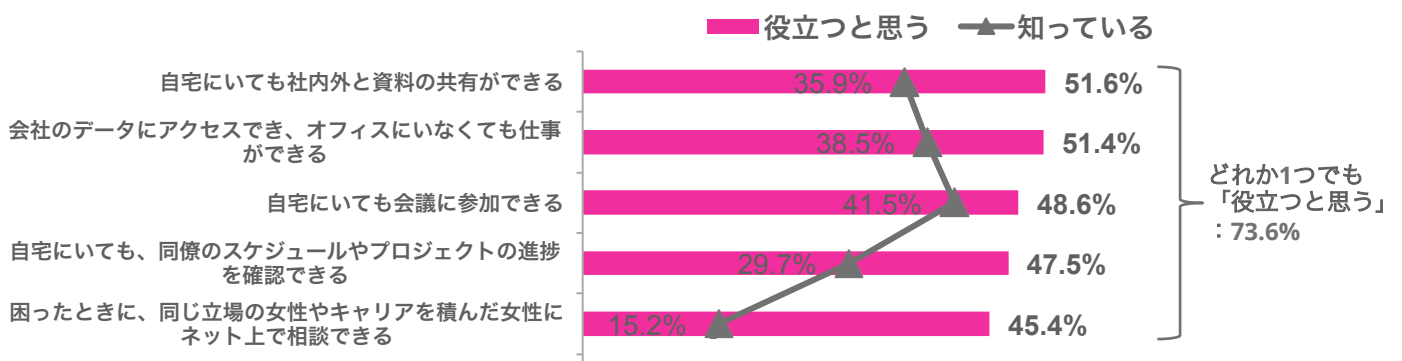


n=117 第1回調査より (2013/11 Google実施)

2 テクノロジーの活用が、女性が働き続けるために役立つ可能性

働く場所・時間を柔軟にするテクノロジーについて「働き続けるのに役立つと思うか」を聞いたところ、どれか1つでも「役立つと思う」と答えた女性は73.6%にのぼりました。しかし、「知っている」と答えた人の割合が「役立つと思う」を全項目で下回り、「役立つはずなのに認知されていない」という現状が浮き彫りになりました。

いま、離職を予定している女性に聞いた
「働き続けるために役立つテクノロジー」



どれか1つでも
「役立つと思う」
: 73.6%

n=434 第1回調査より (2013/11 Google実施)

職場の制度に加え、テクノロジーを活用する人は、 仕事への意欲や、働き続ける意向が高い。

第1回調査の結果を受け、第2回調査として、「職場の制度の活用」「テクノロジーの活用」「仕事の満足度・生活の幸福度」の関連性について調査を行いました。（2014年5月実施）

■ 「テクノロジー（IT）」の内容

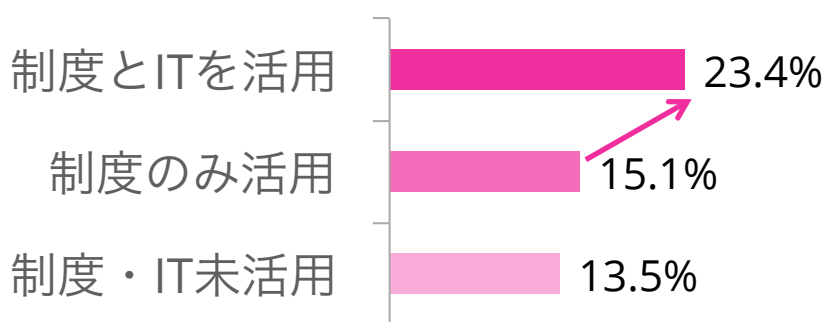
社外からのメール送受信・ファイル共有・スケジュール共有・テレビ会議・個人端末からのデータアクセスなど、働く場所と時間を柔軟にするテクノロジー

■ 「職場の制度」の内容

時短・フレックス・在宅勤務・看護休暇など、働く場所と時間を柔軟にする制度

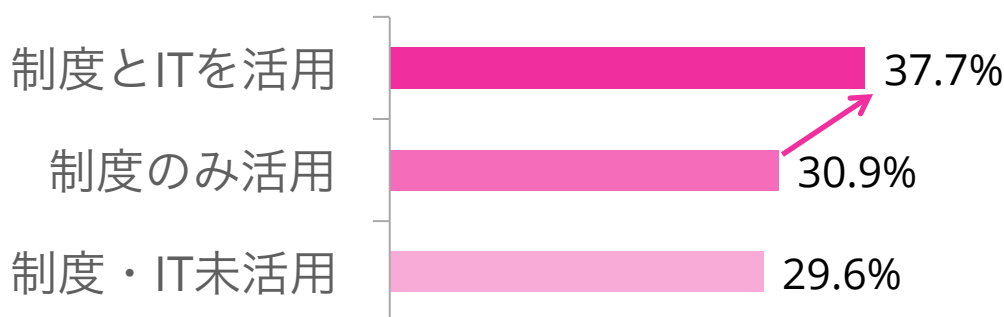
- 3 職場の制度のみでは、活用する人としらない人で「働く意欲」や「現在の会社で働き続けたいと思う」という勤続意思に大きな差は見られませんでした。
一方で、職場の制度とテクノロジーの両方を活用する人は、「仕事に対して意欲的に働いている」「現在の会社で働き続けたいと思う」割合が大幅に向上することがわかりました。

現在の仕事に対し「意欲的に働いている」人の割合



制度とITを活用 n=238, 制度のみ活用 n=313, 制度・IT未活用 n=566, 第2回調査より (2014/5 Google実施)

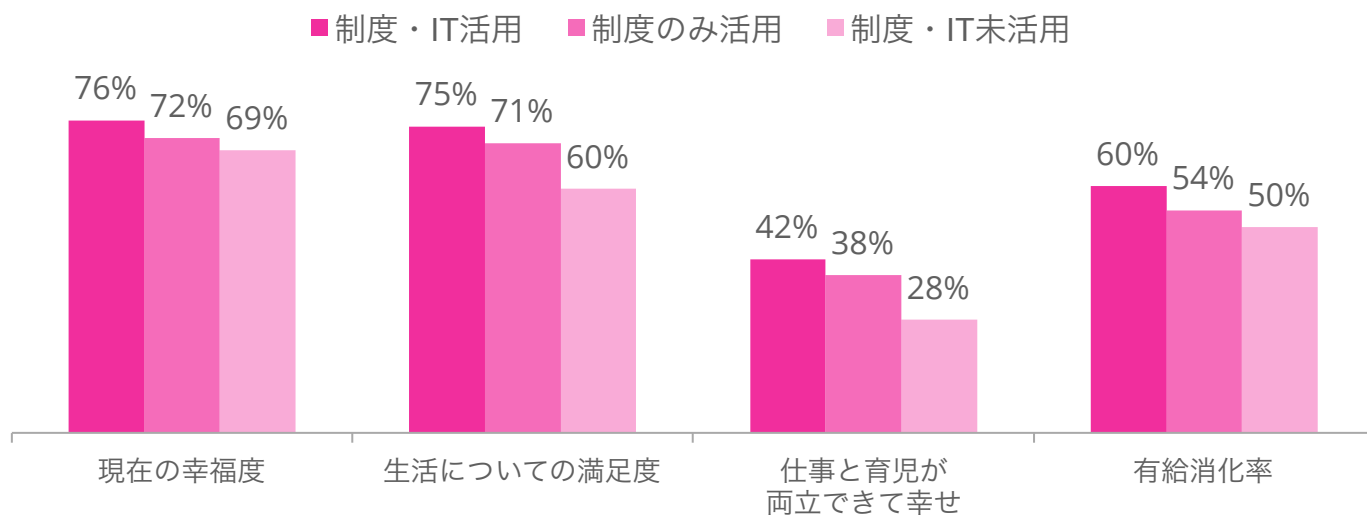
現在の会社で「働き続けたいと思う」人の割合



制度とITを活用 n=238, 制度のみ活用 n=313, 制度・IT未活用 n=566, 第2回調査より (2014/5 Google実施)

職場の制度に加え、テクノロジーを活用する人は、 ワークだけでなくライフの満足度も高く、幸せである。

仕事だけでなく、生活や人生全般についての満足度も聞いたところ、「現在の程度幸せか」「生活全般に満足しているか」「育児と仕事が両立できていて幸せか」「有給休暇をどの程度消化しているか」などの項目において、制度とテクノロジーの両方を活用する女性が、最も高いスコアとなりました。



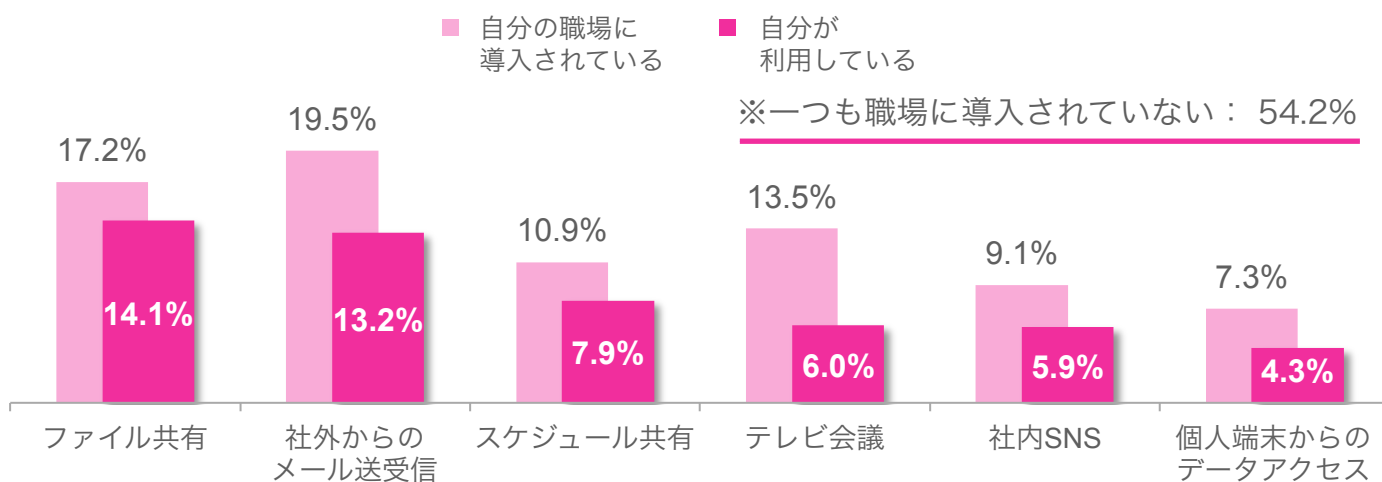
制度とITを活用 n=238, 制度のみ活用 n=313, 制度・IT未活用 n=566, 第2回調査より (2014/5 Google実施)

場所と時間を柔軟にするテクノロジーの浸透はこれから

最近1年以内に利用したテクノロジーを聞いたところ、最も利用されている「ファイル共有」においても、利用率は14.1%にとどまりました。

また、54.2%の企業は、場所と時間を柔軟にするテクノロジーを一つも導入しておらず、テクノロジーが浸透していくのは、まだまだこれからと言えます。

テクノロジーの導入と利用



n=1173 第2回調査より (2014/5 Google実施)

調査条件について

■第1回調査 (2013/11/6-11/7)

□サンプル数

市場把握調査 N=20,000

本調査 N=1,000

□対象者条件

- ・女性
- ・25~49歳
- ・女性固有の事情で、退職予定の就業女性 n=500
- ・再就職希望がある、退職した女性 n=500

■第2回調査 (2014/5/16-5/21)

□サンプル数：

市場把握調査 N=20,000

本調査 N=1,173

□対象者条件

- ・女性
- ・25~49歳
- ・フルタイム勤務
- ・末子年齢が小学校3年以下
- ・制度とITを活用 n=238
- ・制度のみ活用 n=313
- ・制度・IT未活用 n=566